

小型電気温水器 (センサー水栓つき)

FCS239K

取付・設置説明書

取付・設置前に必ずお読みください。

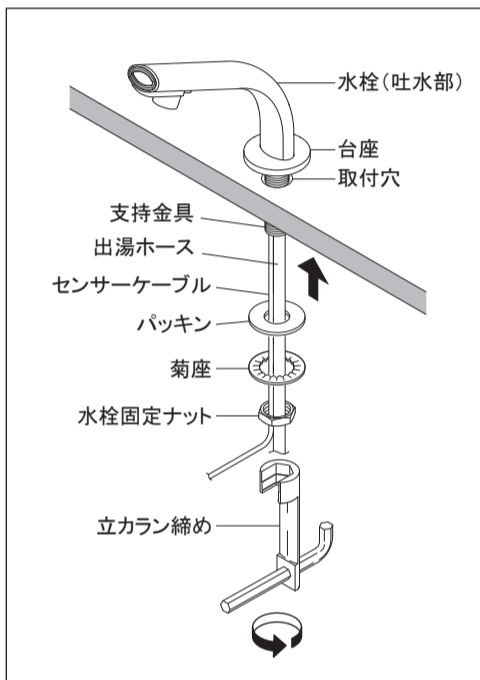
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この説明書は、別紙「安全上のご注意」、「取付・設置前の確認」と合わせてご使用ください。

このたびは、小型電気温水器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

取付方法

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を開けて取付作業を行ってください。

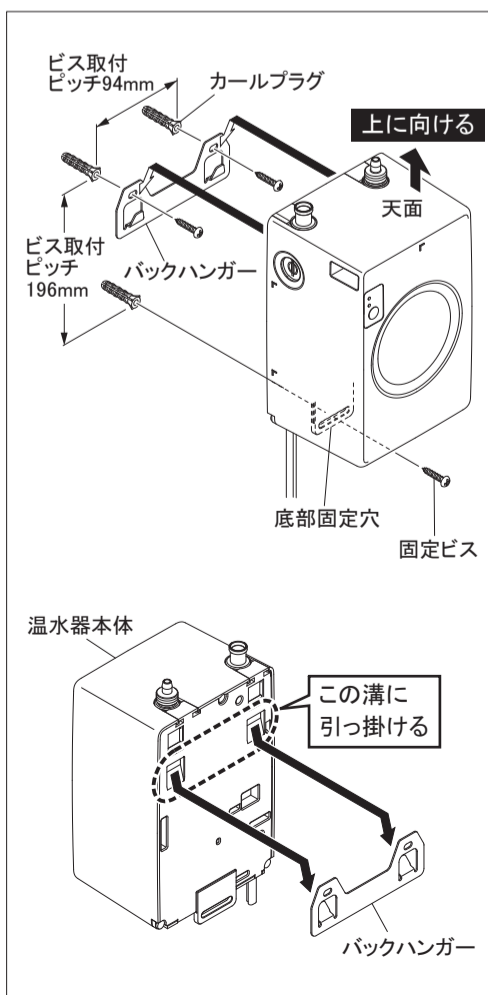
1. 水栓(吐水部)の取付



- ① パッキン・菊座・水栓固定ナットを水栓(吐水部)から取外します。
- ② 台座の下にパッキンがついていることを確認してから取付穴にセンサーケーブル、出湯ホース、支持金具の順に通し、吐水口が正面を向くようにします。
- ③ イラストのようにパッキン・菊座・水栓固定ナットを支持金具に通してから、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかり締付けます。

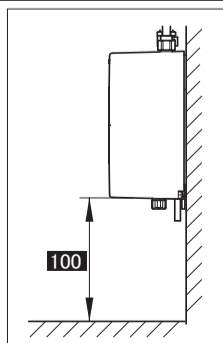
注意 水栓固定ナットを締付ける際は、センサーケーブルをかみこまないように注意してください。

2. 温水器本体の取付



- (1) タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合
- ① ビス穴位置に下穴を開けカールプラグ(現場手配)を打ち込みます。
* カールプラグは固定ビス(φ5×30)に合うものを手配してください。
 - ② バックハンガーを固定位置に合わせて固定ビス2本でしっかりと固定します。
 - ③ バックハンガーへ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定穴を固定ビス1本でしっかりと固定します。
* 本体が水平になるように取り付けてください。
- (2) 木製の壁材に取り付ける場合
- 製品重量に耐えうる構造であることを確認し、バックハンガーを固定ビス2本で固定します。次に底部固定穴を固定ビス1本で固定してください。なお、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施してください。

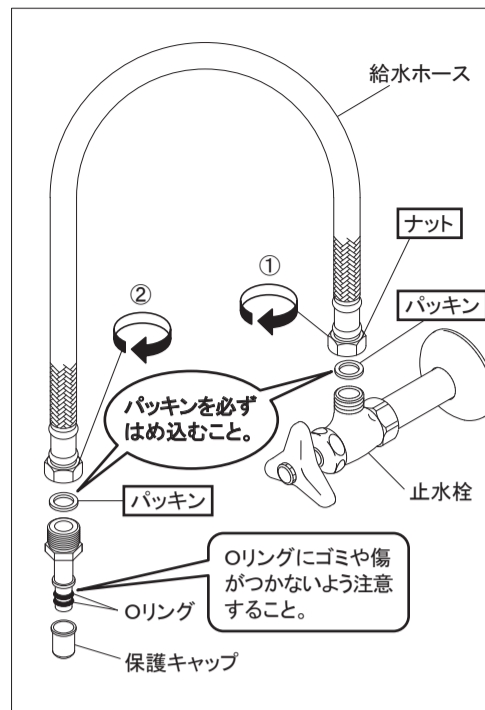
* 本体の水ぬれ防止、本体の排水を容易にするためF.Lから本体底面を100mm以上上げて取り付けてください。



必ず実行 温水器本体を設置する際は必ず天面を上にして水平に取り付けてください。

取付方法(つづき)

3. 給水ホースの接続



① 給水ホースの一方のナットにパッキンをはめ込み、給水口アダプターを「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

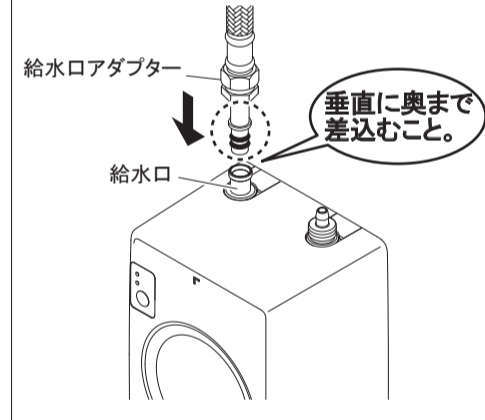
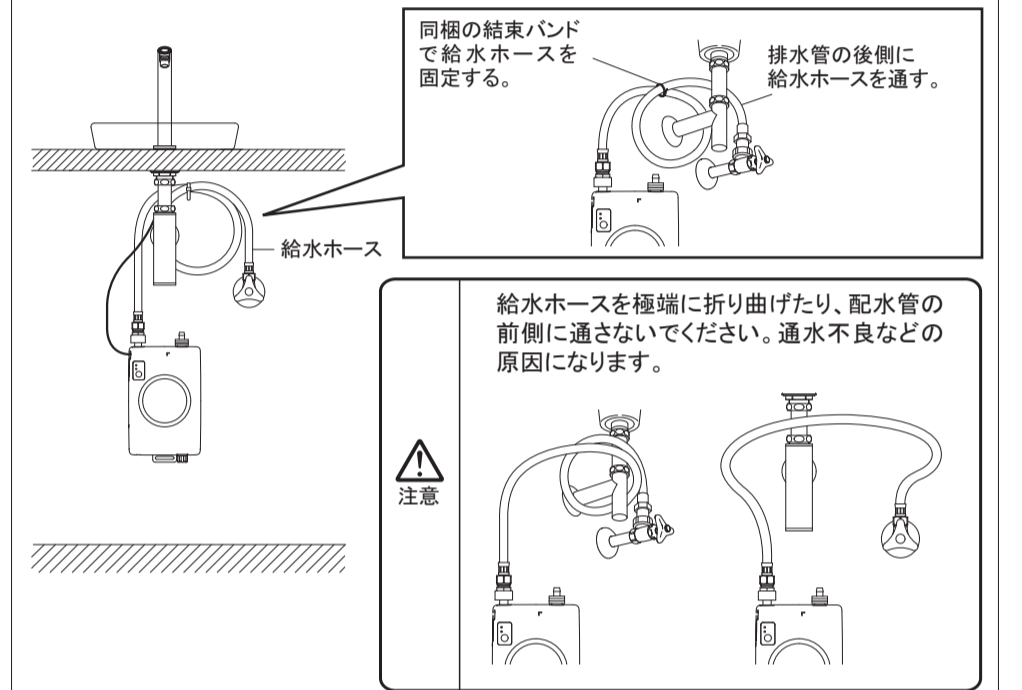
禁止 必ず付属の給水ホースを使用してください。止水栓との接続にはフレキパイプなどは絶対に使用しないでください。

② 給水ホースのもう一方のナットにパッキンをはめ込み、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

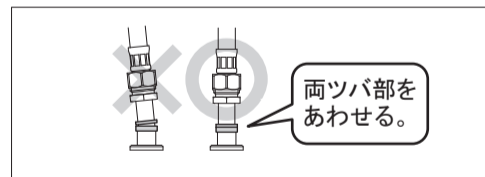
③ 給水口アダプターの先端の保護キャップを外します。

■ 給水ホースを下図のように取り付けてください。

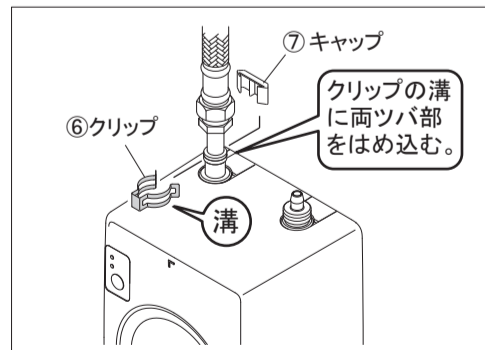


④ 給水口アダプターを温水器本体の給水口へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

必ず実行 給水口アダプターを給水口に差込むときは、オリングに傷を付けないよう垂直にゆっくり差込んでください。



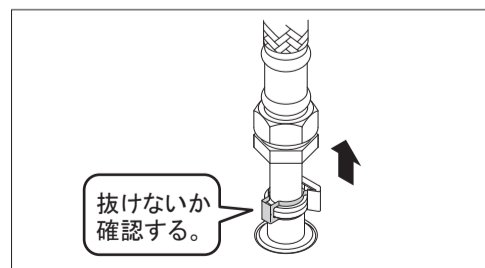
⑤ 給水口アダプターが給水口に正しく差込まれているか確認します。



⑥ クリップの溝に、両ツバ部(給水口アダプター側と給水口側)が収まるようにクリップをはめ込みます。

⑦ キャップをクリップに取り付けます。

注意 固定後は必ずキャップを取付けた状態にしてください。クリップで手を切る恐れがあります。



⑧ 給水口アダプターを上を引き、確実に接続されているか確認をします。

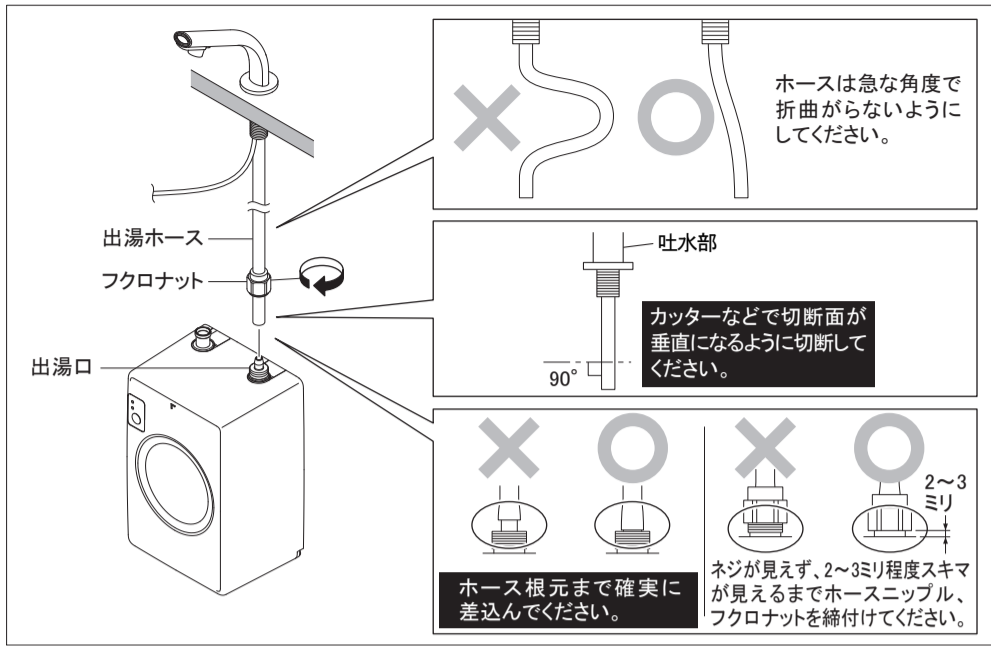
注意 確実に取付けないと漏水する恐れがありますのでご注意ください。

必ず実行 クリップが正しい位置に取付けられていないと通水時に給水ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているか確認をしてください。

正しく取付いているか

取付方法(つづき)

4. 出湯ホースの接続

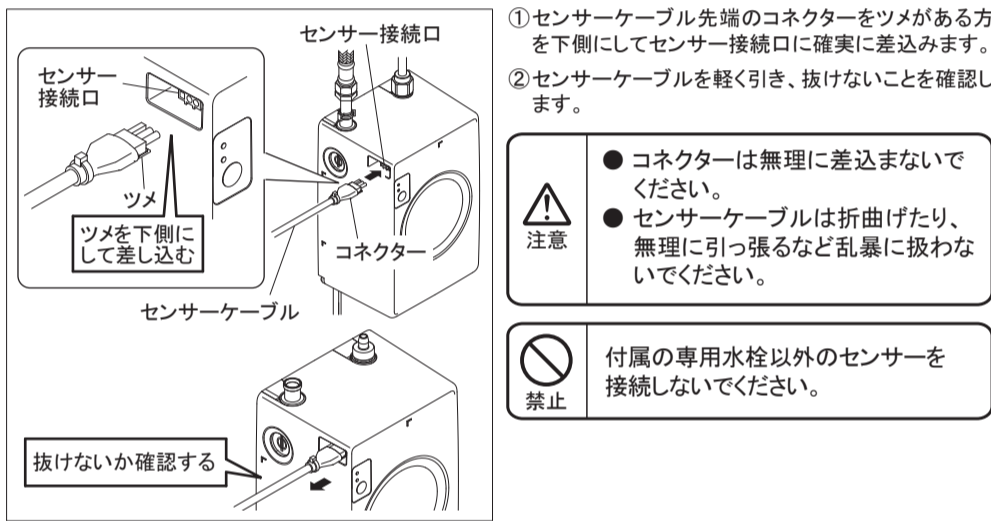


- 出湯ホースを温水器本体の出湯口に合わせてイラストのように適切な長さに切断します。
- フクロナットをホースに通してから、イラストのように出湯口の根元まで確実に差込みます。
- ②でホースに通したフクロナットを出湯口にネジが見えず、2~3ミリ程度スキマが見えるまで「レンチ」などで締付けます。

注意

- ホースは急な角度で折曲がらないように取付けてください。
- ホースの切断面が垂直になるように切断してください。
- ホースは出湯口の根元まで確実に差込んでください。
- フクロナットは、出湯口のねじが見えなくなるまで締付けてください。

5. センサーケーブルの接続



- センサーケーブル先端のコネクターをツメがある方を下側にしてセンサー接続口に確実に差込みます。
- センサーケーブルを軽く引き、抜けないことを確認します。

注意

- コネクターは無理に差込まないでください。
- センサーケーブルは折曲げたり、無理に引っ張るなど乱暴に扱わないでください。

禁止

付属の専用水栓以外のセンサーを接続しないでください。

(コネクターの外し方)
コネクターの接続をやり直す場合は、以下の要領で外してください。
手でツメの根元をつまみながら引き抜くか、マイナスドライバーでツメの根元を軽く押し外してください。

6. 電気工事

温水器専用100V・15Aの「接地用端子のついたコンセント」を用意し、アース工事を行ってください。

アース接続

電気工事は関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース工事(D種接地工事100Ω以下)を行ってください。誤った工事を行うと故障や漏電の際に感電する恐れがあります。

禁止

- 水・油・洗剤などがかからない位置に電源プラグ用のコンセントを設けてください。感電の原因となります。
- アース線はガス管・水道管・避雷針などには絶対に接続しないでください。感電の原因となります。
- 指定する電源以外では使用しないでください。故障や火災などの原因となります。
- 接地用端子のないコンセントには接続しないでください。すでに接地用端子のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。接地極が付きコンセントの場合は、アースターミナル付変換アダプター(定格125V・15A/参考:パナソニック電工品番WH2881P)を別途ご準備の上接続してください。故障や漏電時に感電・火災の原因となります。

必ず実行

温水器本体の銘板や仕様表に記載している消費電力、電源を確認し、必ずこれに適した配線をしてください。火災の原因となります。

この温水器は100V/1242Wの電力を消費します。

7. 電源の接続

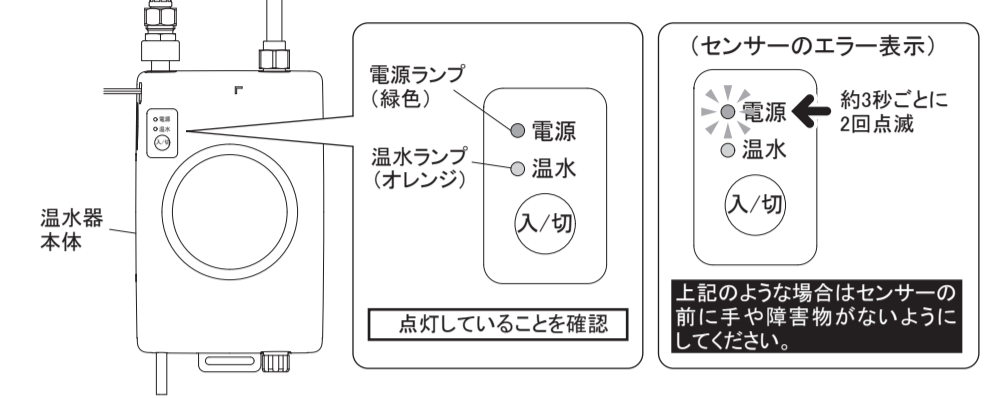
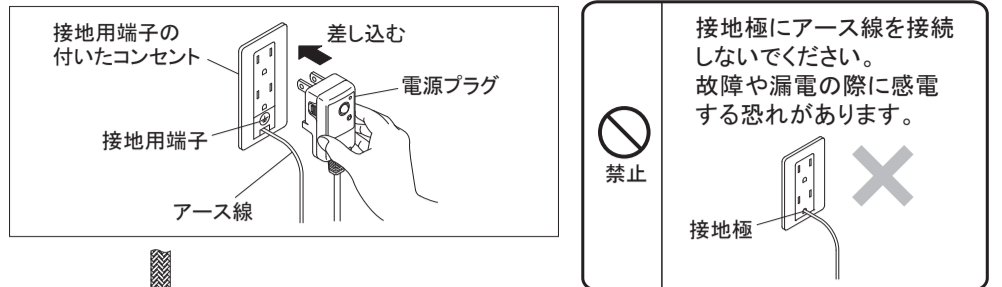
- 温水器本体のアース線をコンセントの接地用端子に接続します。
- 電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込みます。

* 電源プラグをコンセントに差し込むと温水器の電源が入り、初期設定を行いますので、センサーに手をかざしたり、手洗器(洗面器)内に障害物を置いたりしないでください。

- 温水器本体正面の電源ランプおよび温水ランプが点灯していることを確認します。

* 電源ランプが点滅している場合は、初期設定の際にセンサーの前に手や障害物があったためのエラー表示です。センサーの前に手や障害物がないようにしてください。

7. 電源の接続(つづき)



禁止

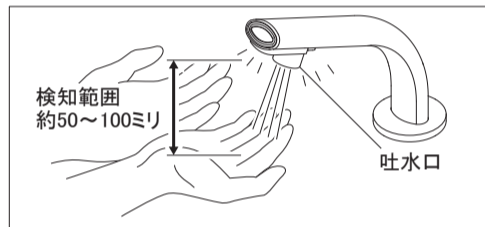
- 電源コードの加工(切断や継ぎ足しなど)はしないでください。感電・火災の原因となります。
- コードを乱暴に扱ったり(折り曲げたり、重いものを載せるなど)、ガタついているコンセントを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

必ず実行

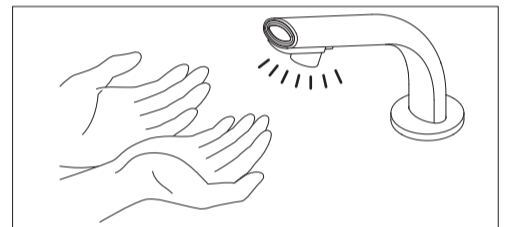
電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで確実に差込んでください。故障や感電・火災の原因となります。

取付後の点検

● 水を出す



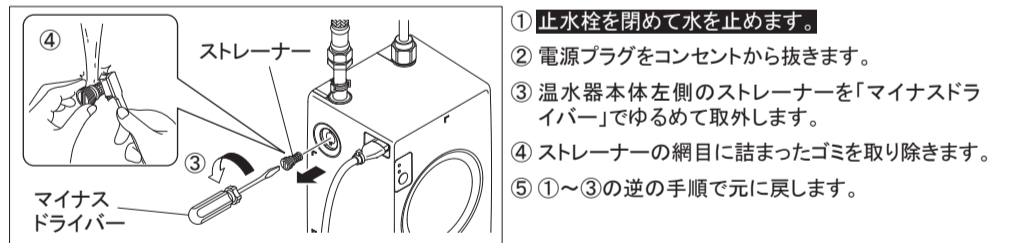
● 水を止める



- 止水栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。温水器内部に定流量弁を内蔵していますので、通常は流量の調節は不要です。止水栓は全開の状態で使用してください。漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を取付・設置しなおしてください。
- 吐水口に手を近づけて水を出し、各部に漏水がないかおよび温水が吐水するかを確認します。漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を取付・設置しなおしてください。温水が出ない場合は、温水ランプが点灯しているか確認してください。温水ランプが点灯していない場合は、止水した状態で温水入/切スイッチを1回押して温水ランプを点灯させてください。水が出ない場合は、取付方法「5.センサーケーブルの接続」に戻って、確認してください。取付後に初めて水を出す場合は、約10~20秒間連続して水を出して流量と温水の温度を安定させてください。
* 吐水口から手を離すと約1~2秒で水が止まります。(止水時に吐水口から水滴が数滴落ちる場合があります。)
* 手を近づけた状態で、約1分間連続して水を出すと、自動的に水が止まります。再び水を出す場合は、一度手を吐水口から離してください。

ストレーナーのお掃除

* 温水器本体の取付・設置後に配管内のゴミがストレーナーに詰まって流量が少なくなる場合があります。取付後の点検の後に必ずストレーナーを掃除してください。

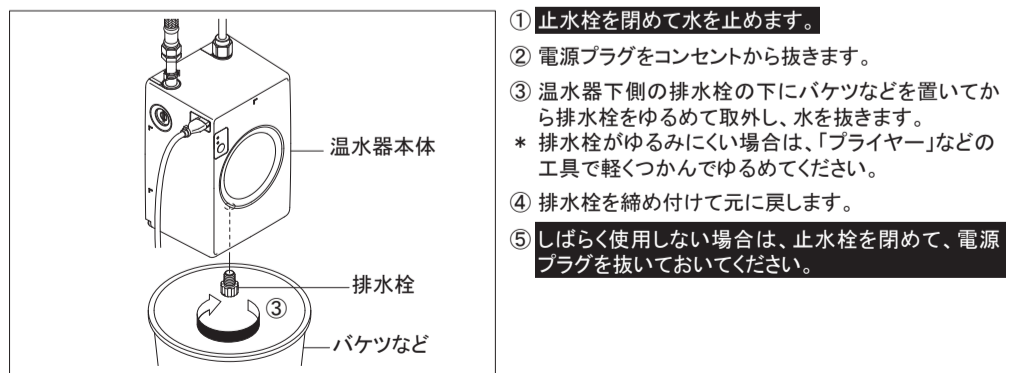


水抜きのしかた

* 取付・設置後に引渡しまで長期間使用しない場合は以下の手順で水抜きを行ってください。

注意

本製品は寒冷地対応品ではありません。設置場所の周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



製品についてのお問い合わせは



〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-6-3 新宿国際ビル新館
TEL 03-5909-0503~4 FAX 03-5909-0518

http://www.le-bain.com

BM-B9802

無断転載・複写を禁ず